

## 編集方針

本報告書は、大和証券グループの持続可能性に向けた活動と社会的責任に関する情報をできるだけわかりやすく誠実に開示することを目的に、2002年から継続的に発行しています。また、私たちの取組みの現状と課題を自己チェックすることも、本報告書を作成する重要な目的のひとつだと考えています。

本報告書の作成にあたっては、持続可能性報告書の国際的なガイドラインである、GRI<sup>\*1</sup>の「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」を参考にしています。また編集にあたって、特に「従業員への浸透」と「ステークホルダーとの対話」とを強く意識しています。

「特集」では、金融機関として大和証券グループに求められる社会的責任について、社内外の声を交えてそのあり方、方向性、課題について考察します。また当社グループが取り組んでいるSR(社会的責任投資)の普及・促進活動と経済・金融分野での教育・研究活動という2つの活動の進捗を報告します。

「マネジメント」以降では、大和証券グループの経営・執行体制について、およびGRIのガイドラインにのっとり、2005年度の事業活動における、社会的側面、経済的側面、および環境側面のパフォーマンスについて、各ステークホルダーに報告することを目的としています。

## 本報告書の対象範囲など

### 対象読者:

主にお客様、株主・投資家、従業員をはじめ、取引先、NPO(非営利組織) 全国の大和証券本支店の近隣住民の方々、教育機関など、大和証券グループの幅広いステークホルダーの方々です。

### 報告対象範囲:

原則として当社グループ主要9社<sup>\*2</sup>(主要9社で全従業員の約90%をカバーします)。ただし、全項目について9社すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の規模や事業内容などに応じて記載しています。数値データには、それぞれの対象範囲を明記しています。

### 報告対象期間:

2005年度(2005年4月~2006年3月)。一部には、発行日直近(2006年度)の活動や2004年度以前の情報も含まれています。

### 発行時期:

2006年9月(前回2005年9月 次回2007年9月予定)

<sup>\*1</sup> GRI(Global Reporting Initiative):サステナビリティレポートの国際的なガイドラインを立案し、普及させることを目的とした団体。世界各地の企業、NGO、コンサルタント、会計士団体、事業者団体などのマルチ・ステークホルダーが参画し、1997年秋から活動。

<sup>\*2</sup> グループ主要9社については「大和証券グループの事業内容」P.5をご参照ください。

# BUILDING SUSTAINABLE SOCIETY

## 目次

トップメッセージ	1
目次・編集方針	3
大和証券グループの概要	4
大和証券グループの事業内容	5
大和証券グループの社会的使命	7
<b>特集1 金融とCSR</b>	
排出権市場の活性化を促す商品を開発 座談会	9
金融がけん引するCSR 対談	11
<b>特集2 本業を活かした取組み</b>	
社会的責任投資(SRI)への取組み	13
経済・金融教育への取組み	15
<b>マネジメント</b>	
実績と課題・目標	19
コーポレート・ガバナンス	21
CSRマネジメント	23
コンプライアンス	25
情報開示(ディスクロージャー)	29
<b>経済性報告</b>	
ステークホルダーへの分配	31
<b>社会性報告</b>	
お客様満足への取組み	33
株主とのコミュニケーション	35
人の尊重と人材の活用	37
働きやすい職場とは 座談会	41
企業市民として	43
<b>環境報告</b>	
環境への取組み	47
第三者評価	50
第三者意見	51
GRIガイドライン対照表 / 持続可能性に向けたあゆみ	53